

会議録

会議の名称	平成22年度 第4回環境審議会
開催日時	平成22年10月8日（金曜日） 14時00分から16時00分まで
開催場所	エコプラザ西東京 講座室2
出席者	委員：赤司委員、勝村委員、清水委員、田辺委員、齋藤委員、豊永委員、大森委員、佐々木委員、前島委員 事務局：小関環境保全課長、田中環境計画係長、佐藤（理）主事、佐藤（奈）主事
議題	1 開会 2 議題 （1）組織作り・連携の方向性について 答申案骨子 （2）その他 3 閉会
会議資料の名称	資料No.1 各種計画とエコアクション21・環境経営本部についての補足説明 資料No.2 答申案骨子 資料No.3 事務局試案A・B 資料No.4 西東京市の環境保全を推進するための組織（大森委員試案、事務局試案A・B）が実際にワークするかの検証材料（大森委員提出） 資料No.5 西東京市環境保全推進組織事務局試案について（清水委員提出）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会 本日は御所窪委員が都合により欠席。</p> <p>会議録確認 前回会議録について、一部修正のうえ、確定した。</p> <p>2 議題 （1）組織作り・連携の方向性について</p> <p>○事務局： 資料No.1を説明</p> <p>○委員意見： ・環境基本計画の中では、環境審議会の位置づけが計画の点検・修正を行うとあるが、本来環境審議会の役割には計画の策定も含まれているので、表現を環境基本条例と同様に修正した方が良い。 ・エコアクション21の説明は市長がリーダーシップを発揮しているということを強調</p>	

した方が良い。

○事務局：

資料No. 2～3を説明。

○大森委員：

(資料No. 4を説明)

イメージした組織で、考えうるあらゆる環境施策が実際にワークするかを検証しなければならない。

環境とは幅広い概念であるが、生物多様性と地球温暖化を二つの大きな柱として、それらを総合的にまとめて環境保全施策を推進していくのが最も効率的だと思う。西東京市では生物多様性に対する具体的な検討が進んでいないようなので、生物多様性の取り組みを例に様々なケースを考えてみた。

基本に戻って、「環境保全推進協議会を推進するうえでの組織のあり方、連携について」を考えると、組織については行政内の組織、民間内の組織があり、連携については行政内の連携、民間同士の連携、今回最も重要視されている行政と民間の協働という形での連携がある。ただ行政・民間の協働に偏りすぎずに本来行政がやるべきこと、民間がやるべきこと、議会がやるべきことなど、それぞれの役割を明確にして考えたほうが良い。それぞれの責任をしっかりとさせてこそ、「協働」の意味がある。

○清水委員：

(資料No. 5を説明)

事務局試案において、環境保全推進協議会は環境基本計画推進協議会と地球温暖化対策地域推進協議会のメンバーが合同参加しているように見えるが、メンバーではなくそれぞれの協議会の機能を合同するという表現にしたほうが良い。

重点プロジェクト推進の部門名称は「専門部会」となっているが、専門家を交えた審議主体ではなく、推進する組織という考え方を維持したい。

エコ事業者やエコ自治会と書いてあるが名称をもっと明確にしたほうが良い。

(意見交換)

・審議する内容を確認したい。これまで環境情報・学習ネットワークに重点を置いて議論してきたように感じるが、審議会で審議することは行政でやるべきことなのか、行政と民間が協働でやるべきことなのか、またはその両方なのか、行政の役割、民間の役割、協働でやる事項をもっと考えていく必要があるのではないかと。

・重点プロジェクト1～3をやっていくことを前提として、重点プロジェクト4で、様々なところと連携をしていくとしているが、どのようにやっていくのかがわからないのでその審議をしていく必要があるのではないかと。事務局の試案では重点プロジェクト4の中に重点プロジェクト1～3が入っているが、それはおかしいのではないかと。

・重点プロジェクト毎に位置付けられている組織の中で具体的に活動しているのは重点プロジェクト4のエコプラザ西東京協力員である。その他の組織は重点プロジェクトの推進という意味での活動は未熟であるのが現状。現在動いている重点プロジェクト4を中心にすすめていくと良い。

・計画を実行していくために、B案のように環境情報・学習ネットワークをうまく利

用していくのが良いのではないか。全体でまとめるのは、組織がありすぎると、責任と権限という意味で分散してしまうので一本化していくほうが良い。

・環境保全推進協議会には、行政も民間もそれぞれの事情を良く知った人たちが参加して取りまとめるべき。重点プロジェクトのリーダーと行政が環境保全推進協議会に入り、重点プロジェクトで何をするかを決めて、各プロジェクト専門部会で実行していくほうが良い。

・環境保全推進協議会は、行政からも民間からも、生物多様性や地球温暖化対策など全ての環境のテーマについてよく知っている人が参加するようにしたほうが良い。具体的にいえば重点プロジェクトの代表や環境情報・学習ネットワークの代表のほか有識者が集まるようになって考えている。

・重点プロジェクト4は1～3の一部分であり、包括しているものではないから、重点プロジェクト1～4は組織としては並立したほうが良い。

・資料No. 5において、「公立学校」の部分で「小中学校」とする、とあるが、高等学校が含まれなくなってしまうので公立学校のままで良いのではないか。

・公立学校と限定してしまうと私立が入らなくなってしまうので、小中学校のままで良い。高校が必要であれば高校を追加するか小中学校等でも良い。

・重点プロジェクトを進めるにあたって、行政でやる、民間でやる、協働でやるという3つのやり方があるが、どういうことをどんなやり方ですすめるか全体を見ながらやり方を整理しておかないとうまく進まない。

・あまりこの試案の図に囚われすぎず、本質的に何をやるのかを決めるべきではないか。環境情報・学習ネットワークと重点プロジェクトの専門部会とがどういう関係にあるのか、という点と、重点プロジェクト1～3と4の関係はどうなのか、という二点に絞って検討していくべきではないか。

・西東京市の現状は民間も行政もそれぞれの組織がバラバラに活動しているように思える。命令するのではなく、まとめる部署があると良い。それぞれの組織が何をやるのか、具体的に議論するべきではないか。

・重点プロジェクト1～3のメンバーがあまりうまく動いていないのだから、今までのメンバーではなく、新しく役割をきめて、それをやるためのメンバーを改めて決めていかないといいかと思う。また、試案Aでは庁内推進委員会と環境保全推進協議会が関連しているが、環境保全推進協議会は市長と直結していないとおかしいのではないか。

・行政内部の問題についての提言は、審議会意見としていうことは必要だが審議会としては行政と民間との協働部分についてしっかりした組織・連携づくりを考えていくことが大切である。

○事務局：

既存の組織が連携をとりにくい、ということや、部分的に重複したときにうまく連携がとれない、という課題がある。そういった現状を踏まえた上で、環境保全推進協議会や地球温暖化対策地域推進協議会など新しい組織を次々と設けても、どこが責任をもって活動していくのかが分かりにくくなってしまふ。全体の仕組みを先に作り、その仕組みの中で機能していくためにそれぞれの役割が何を担当するか微調整を行うという形が良いのではないか。

前回の大森委員の試案をたたき台として修正していくのが良いのでは。

答申案骨子であげられた五つの課題を大森委員の試案でクリアできるかどうか検討し、クリアできないものがあればできるように肉付けしていくべき。

(質疑応答)

○質問：

エコ自治会とあるが、エコ自治会とはどういったものをさすのか。

○大森委員：

エコ自治会とは、特にエコに力を入れている自治会というニュアンスである。

○質問：

4つの重点プロジェクト専門部会は環境情報・学習ネットワークとは別にあるという意味か。大森委員の試案では環境情報・学習ネットワークとは外していると思うが環境情報・学習ネットワークと重点プロジェクト4専門部会との関係はどう考えているのか。

○大森委員：

重点プロジェクト4専門部会との関係で外して書いてあるが、重点プロジェクト4は独立しているが全てのプロジェクトと関わっているので他のプロジェクトにも架けて表現している。

○質問：

プロジェクトごとの各推進員組織は、環境情報・学習ネットワークとどう関係しているか。試案Bでは、環境情報・学習ネットワークに市民、事業者、子どもが参加しており、その中に重点プロジェクトが入っているので、ごみならばごみに関する問題意識の強い人が各プロジェクトを推進していくのだと思う。全ての人々がプロジェクトに参加していくというイメージなのでこちらが良い。重点プロジェクト4が全体を包括しているのでここに重点プロジェクト4を入れれば良いと思う。

○大森委員：

環境情報・学習ネットワークと重点プロジェクト4専門部会が関わりながら活動していることを表現している。重点プロジェクト4専門部会の一部組織というイメージである。

(2) その他

最終的な答申はどの程度のものまで具体的につくるのか。

答申案骨子に基づいた一本化した図がほしい。環境審議会の位置づけも入れてもらいたい。

3 閉会

○ 会長：

今回は11月8日（月曜日）午後2時から開催する。会場はエコプラザを予定。通知は後日郵送する。

